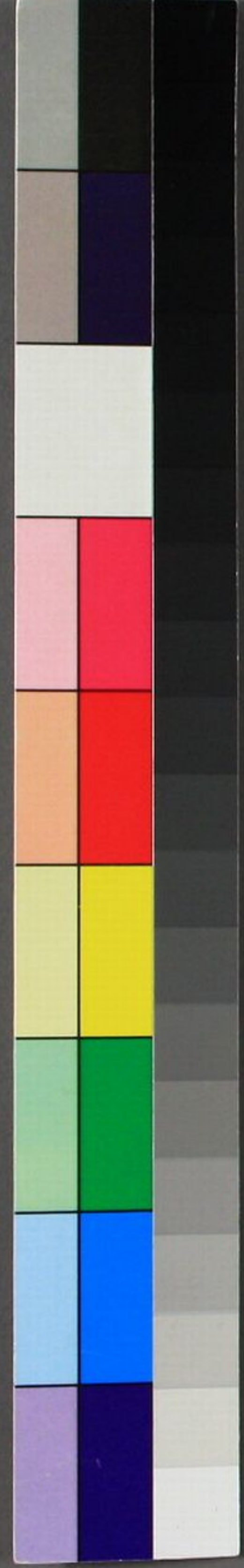


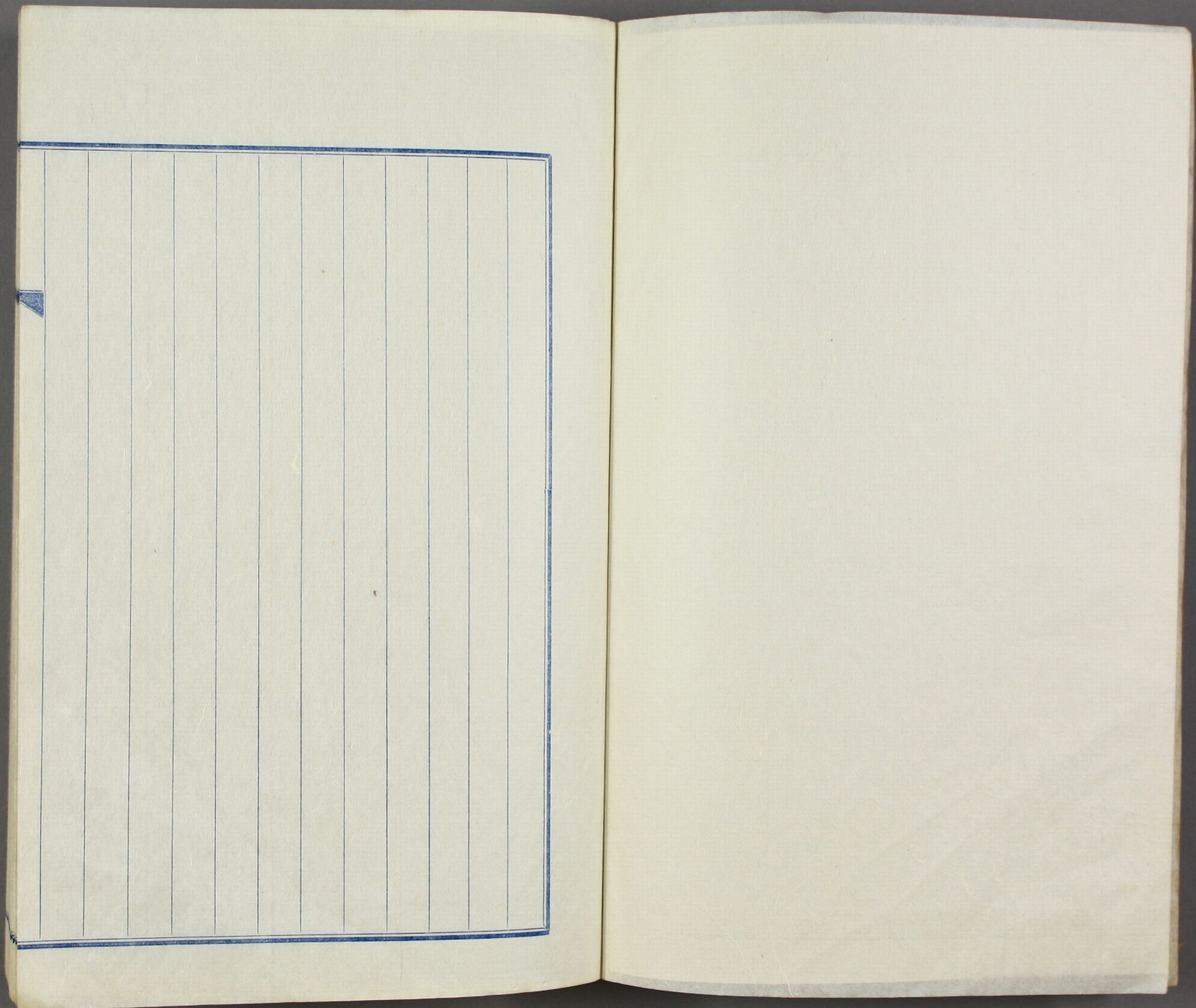
黒本目録

全

特別
イ4
3159
A60



14
3159
A60



十二行 池ノ端 中島屋製



あくげんた

黒本目録

天童 漆山又四郎編



アの部

徳歌 明石 湯朗 天草 紙

柱人丸

小本三冊十五丁

(延享二)

富川房信画

鶴屋

㊦

新備後 鷹塚村 舊跡

柱

鷹塚村

二丁

(明和六己丑)

富川房信画

鶴屋

要源 太念怒 霹靂

柱

あくげんた

三

(安永元壬辰)

鳥居清経筆

鱗形屋

ア

一

悪源太平治合戦 柱へいど 二
鳥居清重画

⑩ 悪魔除鐘増勢 柱あくまよりけ 三 (寛延元戊辰)
繪師 富川吟雪

あきざね物語 柱あきざね 二 (寛延三庚午)

⑨ 旭影武者扇 二 (明和元甲申)
富川房信筆

十二行 池ノ端中島屋製

朝比奈草摺實記 二 (寶曆一二)
富川房信筆

朝比奈嶋渡 柱しまわたり 三 (明和元)
繪師 富川吟雪画

馬喰町角
西村平板元

朝比奈勇力鑑 二 (延享二)
鶴屋板

新板 仇討武道物語 柱四國へんろ 二 (明和元)
⑩ 西宮

新板 あだかたき打出櫓 柱 あだかたきうちでのこうち 二

○新板、敵役綱世継とりのものあり、柱も板元り序書と同じ、序書の外題替

仇情出世短冊 (安永元壬辰)

山本

新板 吾婿容大力業平 柱 なりひら 二 明和八年卯

鶴屋

吾妻権現の由来 寶曆一二壬午

丈阿作 鱗形屋

十二行池ノ端中島屋製

吾妻伽羅とこ (寶曆八戊寅)

鱗形屋

○安永四年に清満画を神東伽羅夫(とりの)あり(柱きやり)本
書の新板なりべし
吾妻の花こかぬの榮

山本

新板 三代菅笠 柱 三太ら 二 (明和八年卯)

鱗屋

扇繪物かたり (明和二年酉)


つるや

逢坂山蟬丸實記

柱ありさか山 二

新板近江源氏嗣雛形

柱ありみ 三

延享四丁卯


近江國大神物語

三

明和七庚寅


鳥居清經画

油屋おその
小買久待 思妖競

二

寶曆七丁丑
鱗形屋

十二行池ノ端中島屋製

流風新
版阿部清明
芦屋道瑞

富川房信画

智惠競

柱ありめい 二

明和八年卯
齋

安部の安名物語

柱安 二

鳥居清信画

(清信は清信の誤歟)



雨請小町名歌榮

二

天の香久山

柱一

二

富川房信画

江戸時代小説
類辰堂存目
録

菖蒲現在鴉

二

明和二乙酉
◎

有馬うわなり湯

安永元壬辰
伊勢次

梅田樂記原梅田樂記原 三

◎ 明和二乙酉

悪魔除米守

三

十二行池ノ端中島屋製

朝日太平記

三

鳥居清重画

朝比奈地獄破

三

ありかゝ山桂

二

繪師 富川吟雪



人物原頼政

イの部

新二游君須磨砦

柱 ひろふけん

二

生野の草紙

四

元禄七甲戌

池庄司忠義嶋臺

二

明和ニ乙酉
つるや

石川五右衛門

延享元甲子
鱗形屋

新 石橋山元動源氏

柱上中石河山 三

⑩ 西宮

石橋山合戦

三

石部金吉かゝ兜

(明和二年酉
つるや)

いせ御利生福神遊

(安永元壬辰
伊勢次)

十二行池ノ端中島屋製

新 伊勢参宮御利生

柱いせさんごう 三

④ 山本

清廣画

伊勢参宮 初心書 柱志よりんよ

(明和五戊子
⑤)

鳥居清經画

○明和の御かき参りの事を作すり

新 石橋の海誓言の網 柱あこき 三

明和五戊子

鳥居清經画

⑩ 西宮

新 伊勢三郎物見松

柱上物見の松 二
下ものみの松

寶曆八戊寅
⑩ 板元西宮
又⑩山本

伊勢續松紀原 柱哥かした 三 寶曆六丙子

鱗形屋

伊勢物語をそのまゝ草紙抄したるものあり、末は紙巻の巻末に
入る錦正かがり、神慮をこころび多くの錦をこころはしむ一うきり、
伊勢物語榮花枕 二
繪師 富川吟雪

市川 一

○市原千秋氏

市原臥夜黒牡丹 柱まとう丸 二
鬼童 富川吟雪画

西村

十二行池ノ端中島屋製

市原臥夜黒牡丹 三 明和六

△

鳥居清満画 〇本畫清満画△をちと吟雪画、み村を本二部ありと見ゆ
一夜々けくれなゝ表具 明和二乙酉

△

伊豆温泉縁起 三 安永元

△

鳥居清経画 〇安永八年に再板せり

一休悟乳柑子 柱一きう 三
和尚 鳥居清満画

△

イ

ハ

伊豆の御山旭のなまきの葉

寶曆八戊寅

壽

和泉式部

柱いづみきぶ 四

寶曆一〇庚辰

和泉式部花鏡

柱いづみきぶ 五

明和五
鶴屋

芝居始
鳥居清満画

柱いづみきぶ 三

十二行 池ノ端中島屋製

糸櫻女
鳥居清経画

柱上丸女
柱下丸女
二

明和六己丑

岩守神 双面魘

丈阿作

明和五戊子
鱗形屋

いふき山合戦

寶曆二壬申
鱗形屋

伊次山頼光二鬼

柱いふき山 三

明和八年卯

新 おかし 今はつぎほの桃

柱 上つぎほ 下継穂 三

明和五戊子
丸甚

新 い 今榮蝦夷源

柱 上名 中名 あつた 下名 あつた 三

⊕ 西宮

鳥居清経画

今物語青柳塚

安永二癸巳

山本

今様 風俗 榮花物語 柱 榮花

一〇冊 早九丁

⊕ 辰の年

十二行 池ノ端 中島屋製

今やうはるし

三

今様吉田兼好

柱 吉田

三

⊕ 村

⊕ 年

奉納妹背書

三

繪師 富川吟雪

〇

慶應十二年款又
安永三年款

いとせ山風流かごみ

寶曆二壬申

鱗形屋

いろは はすすの 九寸五分高名 柱 いろはびしや 五 安永二癸巳
鳥居清満画 鱗形屋

いろさかり 柱 二

の大ノ字の松明、清永寺にあり

いろはたんか 一 二回

①いろはりいろのまをわきまてぬし ②ろくろくろけりちりちり

ウの部

うかれ法師ねこと咄 柱 うれ 二 安永元壬辰
繪師 富川吟雪 鶴屋

浮世縁笑縁結 一

浮名の溜いけ 二 延享三丙寅

鱗形屋

浮世めつけ丸 一 寶曆七丁丑

鱗形屋

浮世宿替女将門

柱やかへ女 二

明和六己丑
五戊子

鳥居清満画

△

うき世樂助一杯の夢

房信画

丈阿作

山本

寶曆一二壬午

うき世樂助一盃の夢

安永三甲午

鱗形屋

うさぎの大手がら

柱うさぎ 二

富川房信画

⊙

十二行池ノ端中島屋製

牛御前ものかたり

延享元甲子
鱗形屋

瓢金法師 能て氣傳吉 牛嶋昔物語

柱うーどま 二

明和七庚寅

富川房信画

村田

牛にひかれ善光寺詣

寶曆八戊寅

鱗形屋

碓氷貞光奉公はしめ

二

寶曆一三癸未

富川房信筆

鶴屋板

歌かるたのけりまり

明和三丙戌
鱗形屋

新うつふち十六嶋千代之碑いし 柱十六嶋 三

未う寶曆一三款
鶴屋

繪師 富川吟雪

誂也敵信田楪 二

うねめもろ語

寶曆二壬申
鱗形屋

十二行 池ノ端 中島屋製

うはらか淵

⊕ 西宮

夫石橋山はし上股野真田下した 柱石も山 三

寶曆九己卯
明和八年卯
歿
鶴屋

鳥居清経筆

梅田の初かり

明和二己酉
⊕

梅の由兵衛 柱より兵へ 二

延享二己丑
⊙ いせや

浦島 觀世音 名玉出世の龜

二

明和乙酉
山本

浦島七世孫

三

寶曆八

歟

鳥居清重画

水江對此系雲篋

柱たまたまてはく

三

明和八年卯

鳥居清經画



栗生左衛門 忠義礎
中山田太郎

安永三甲午

十二行 池ノ端 中島屋製

栗生左衛門 忠義宿

安永三甲午

新魚鳥塩梅吉

柱 あんはい吉

二

西村

運附太郎左衛門

柱 うんごたろ

三

明和九壬辰
或安永元

富川吟雪画



新うんりん院誼

柱 うんりん院

三



薄雪初音文

三

歌合昔日尊

二

空蟬脱まゆ紙子

三

工の部

榮花義經蝦夷錦

奥村文志利房

三

蝦夷島義經大王

安永元壬辰
奥村

江戸花名画奥言

狂所縁彩

天明四甲辰

勝川春英画

縁九男子高野山

明和八辛卯



工

一五

十二行池ノ端中島屋製

新 江島児淵 柱ちごがふち 三

⊗ 再摺

本時 蛭子大國記原 柱大黒 二

⊗ 明和元甲申

功 籠梅接穂軍記 柱ちひりの梅 三

⊗ 明和四丁亥 鶴屋

江間小四郎平氏謂 柱江間の小四郎 二

⊗ 明和六己丑 おく村

富川房信画

十二行 池ノ端中島屋製

延喜代 鉢敲濫觴

三

⊗ 寶曆七丁丑

新 延喜之帝 柱ちんまきのみかど 三

山本平七郎重春画

⊗

縁組蛸のつ不敷

⊗ 明和二己酉

縁結赤入塚

柱ちん結赤入つか 二

⊗ 安永元壬辰 山本

才の部

老入の學文

桂 おいれ

三

奥州加美川合戦

明和六己丑
山本

新奥州攻二人景政

桂 二人が政

五

山

起おき躍あがり小法師

桂 おきあがり

二

明和五戊子

新板 沖石水魚の筆始

三

寶曆一三癸未

見嘯舌切雀 柱した切すめ 三

西村

傳兵衛末ひろ扇 柱すへひろ扇 二

安永三甲午 鶴喜

新板 御多賀杓子 柱おたがどやし 二

安永元壬辰 (山) (本) (丸) (丸) (丸) (丸)

御月夜いくつ十三七

安永元壬辰

お寺の大黒舞

安永元壬辰

新板 御伽放鳥 柱はな—とり 二

岩

御 十月夜嘯 柱ふゆのよ 二

安永三甲午

鳥居清経画

新 御伽艶金衡

桂 やさきんひら 二

明和二乙酉

鶴屋

おちつ 清十郎 契約石の寶殿

三

明和七庚寅

△

鳥居清経画

鬼鹿毛 凶藏鏡

二

延享三丙寅

△

新 魁魁太平記

桂 おにかみ 五

寶曆二乙巳

△

鳥居清満画

十二行 池ノ端 中島屋製

物册五 鬼神太平記

桂 およりみ 五

ちん 鶴屋

鳥居清満画

鬼熊退治

二

山本義信画 自作

風 一新 鬼と七太やま 勇猛弓 桂 おたこの 二

明和八年卯

△

富川房信画

鬼袋豊物語

桂 おにふくろ 三

芝金文作

青本に編 入せり

才

一九

大朝比奈磯邊めくり

明和五戊子
山本

大穴そこかられん坊

安永二癸巳
山本

大磯地藏咄

二
明和五戊子
村田

大磯虎車埴物語

富川房信画

二

風流
山入

大さかづき丹波山

柱上丸小大さかづき上
下大さかづき下丸小

二

明和七庚寅

鳥居清經画

山本

大塔宮熊野篠藪繫

三



寶曆七丁丑

大塔宮物語

二

鳥居清經画

ちとどが
あつとどが
大鳥毛庭雀

柱上竹よまめ丸小
下丸小竹よまめ

二

富川房信画

丈阿作

子三羊新版
江戸通油町

九屋山丸小山本小舟衛

大猫古老物語

明和八年卯



大野長者物語

柱上大野長者

二

明和二年酉

富川房信画

大峰櫻

柱

三

巖作文阿



大新田義貞の芝居

画工鳥居清濤筆

一〇

十二行

青幸に編
入せり

大鑑海老洞篠塚

柱大よりひ

二

鳥居清長画

口安永二三年ころの作

面影酒中櫻

柱酒中のさくら

二

明和二年酉



恩愛熊谷さくら

明和四年亥

村田

音曲さる澤の月

文阿作

寶曆一二五年



才

二一

曲^音妖物道成寺 柱 おんきおくむけ 二 明和四丁亥
鳥居清満画



力の部

新^板海尊古郷錦 柱 かいぞん 二 延享三丙寅



新^版黒佐幾合戦 柱 くらさき合戦 五

⑩ 西宮

海陸化物はりこみ 柱 化物はりこみ 二



降参^{宗任}勝間後三年 柱 前宮^{ちちのみ} 二 鳥居清満画

力

二二

新江手孕村昔物語 柱七はり村



高月藥賣浴英 柱かやくうり 二

(文阿)戲作

寶曆一三癸未 鶴屋

高野色盛鬼も十七 柱いろさかり 三

明和元甲申

稀本明石松蘇利 柱ひとまる 五

安永元壬辰

鳥居清経画

景清一代記

三

敵討東名物 柱千人力 二

かゝき打龜山通

延享元甲子

かゝき打巖流島

延享元甲子

かゝき、打色道助太刀

明和八年卯

敵討信田物語

柱志のかゝきうち

二

敵打鐵心かゝり薬奴

柱かゝりやくやつこ

二

明和八年卯

甚

巳

敵討錦女帯

柱女帯

三

安永二癸巳
鶴屋

十二行 池ノ端 中島屋製

雛言討女筆の雲龍

三

明和七

新敵討美女窟

柱上美女がいや
柱下美女がいや

二

板元 西宮

かゝき、打御法の庭

延享元甲子
奥村

新敵打桃折枝

柱上かゝり討事の折枝
柱下かゝり討事の折枝

二

寛延三年午

山

新敵役納世継

柱上仇かき打出小櫃
柱下あた敵うたてのこつち

二

枝元⑩西宮

風新一堅田亀善悪物語

柱くくのりの

二

明和八辛卯

糺

かちとき坂東武者

明和四丁亥

△

凱ゆふき合戦

明和三丙戌
鶴屋

十二行池ノ端中島屋製

午

五か郎吾衛 忠儀赤旗

柱忠義のあかした

二

寶曆一二壬午

富川吟雪画

〇

上總木綿

黄表紙

二

明和二

繪師 富川画

虎

かつらき 眉輪王出生記

柱うつらきやま

二

宝丁八戌寅
明和七庚寅

〇

富川房信画

門出べんけい

二

延享三丙寅

△

カ

二五

門出八一才

三

延享三丙寅

金印

夜道千人力

千人力

二

明和元甲申

新所見才藏花降里

桂花ふる里

三

寶曆一二壬午

○人金印の守ハ十四原最乘寺武山リヤアノ和尙
三喜阿津の住持云々地中より掘出せる金印云々と云ふにハリ

田

田

蟹は金猿は榮
鳥居清倍画

一

十二行 池ノ端中島屋製

貝合鬼界島

柱かいあけせ

三

寛延三庚午

双金賣橋次分別袋

三

明和元甲申

風流 一甲斐源氏再時宗

柱甲斐源氏

三

明和五戊申

鶴屋

富川房信画

買その七種あつた

明和四丁亥

山本

④新甲賀三郎三本刀 柱三本刀分 二 明治六年己丑 鶴屋

かほ茶さゝ茹出世の壽 明和七庚寅 おく村

新録倉朝比奈切通 柱切通 一 二 明和七庚寅 鶴屋

新鑑録倉三代記 柱りまう三代記 二 安永三甲午 鶴屋 繪師 富川吟雪

十二行池ノ端中島屋製

録八君袖日記 三 延享三丙寅

録北条九代序 柱北条九代 五 明和八辛卯 鳥居清満画

録倉山嬾籠 明和七庚寅 山本

⑦新録田又八化物退治 柱りま田又八 二 明和六己丑 富川房信画 鶴屋

力

二七

髮梳カ敵討

明和七庚寅

山本

新龜山念力岩 柱 龜山 三

寶曆七丁丑

鳥居清満画

△

加茂長明狸の腹つつき

寶曆八戊寅

△

鳥勘左衛門出世のかけ鯛 柱 鳥勘左衛門 三 安永元壬辰

富川吟雪画

伊勢次

十二行池ノ端中鳥屋製

刈萱筑紫櫻 柱 かるらや 三

鶴屋

かひ木よもふ 柱 二

明和八年卯

富川房信画

勘介嶋 柱 二

鳥居清廣画

漢楚軍談 五

明和二年酉

村

漢楚軍談繪畫 柱漢楚

一〇

明和三

画工北尾重政圖

鶴屋

〇本書物冊通漢楚軍談と外題あるもの

寒竹笹籠贍 柱りんちく 三

安永元壬辰

繪師 富川吟雪

鶴屋

新 漢揚宮

柱りんやうき

三

青信
清満

山

十二行池ノ端中島屋製

物冊五

荇萱一代記

柱かゝりかや

五

鳥居清満画

通油少

片かや

キの部

久太郎町つき米屋

明和六己丑



鬼海嶋夢物語

三

鳥居清経画

菊重女清玄

程女せい

三

菊酒屋

程上きくすかや
下きく酒屋

二

文阿作



キ

二九

菊花千金猛

桂きくの花

二

⊕ 明和元甲申

菊地 赤屋 弘道松時雨

桂松まじり

三

⊕ 安永三甲午
桐 杉村

富川吟雪画

北野の梅

桂上北の梅
下きたり梅

二

観水堂文阿作

新 義女再来記

桂さいらい記

三

⊕ 寶曆一二壬午
文阿作

新 流 鬼女面福貴州

桂 富貴州

三

⊕ 明和八年卯
桐

富川房信画

流 一大森夫七
二葉の前 鬼女物語

桂 鬼女物語

三

⊕ 明和五年子
鶴屋

富川房信画

吉例手斧はしめ

安永二癸巳

伊勢次

新 鬼は外 吉例歳男始

桂 さいらい

二

富川房信画

狐と猿河邊はな

明和八年卯
村田

狐福ものくさ太郎

明和六年丑
△

絹川おとひの煙州

明和五年戌子
山本

紀路瀉夫婦神垣 柱あけ一三

明和五年戌子
九甚

十二行池ノ端中島屋製

新木丸判官伊吹童子 程きのまる

明和八年卯
つゝや

鳥居清満画

木丸判官太平はーら

寶曆一二年午
△

丈阿

京おーろいの始

明和四年亥
△

中ぶし於満紅 二

鳥居清満画 作者和祥

安永三年午
山本板

口濱午の初喜作者和祥

京橋 戀の紅染 柱 上 中 下 三 寶香一二壬午

鳥居清満画 和祥作 九九 九九 甚

○京橋三丁目並紅粉問屋紅粉を太印治師の廣告也

流 魚鳥大合戦 柱 きよとく 二 明和五戊子

鳥居清経画 鶴屋

清盛一代記 柱 清もり 二代記 十二冊 壬午



紀躍小法師 明和五戊子

文阿作



○李範あがり西法師

金問 茶湯の始 柱 ちやのり 三 明和六己丑

鳥居清経画 又 きんぐじ

金々仙人通言一卷 柱 きんく 仙人 三 明和元甲申

西村

富川画

新編 金時一代記 柱 金時 二代記 五 明和四丁亥

○画風文調より山姥の重政より

鶴屋

乙 金時西國順礼 柱 きんとき 二 安永二癸巳

富川房信筆 鶴屋

時狸の土産

安永元壬辰
村田

公時接徳梅 柱公時つぎの梅 二

安永元壬辰
山本

鳥居清満画

金時幼稚立

二

△

金平いせ参

寶曆二壬申
△

十二行池ノ端中島屋製

公平たから船

寶曆二壬申
△

再金平手柄盡 柱大から 二

△

新公平七小所 柱金平 二
鳥居清経画

原板 柱
再板 つた巻

壽金平役おと 柱やくおと 二

△

寶曆一〇庚辰

金平龍宮物やり

明和七庚寅
村田

金平若さかり

延享元甲子
△

巳

新金平猪熊退治 柱坂田金平 三

明和六己丑

富川房信画

鶴屋

二

きに竹 柱

繪師 富川吟雪

クの部

くさしの枕

柱上草のまくら
下くさのまくら 二

九十
六文
陸奥壺碑文
鳥居清満画

柱つわのいりふき 三

安永元壬辰
⊕

楠宮正直本膳

明和八年卯
奥村

株
楠末葉軍談

柱のすのきざり葉 三

作者 和祥

寶曆一三癸未
鶴屋

くはかけ峠

三

繪師 富川吟塵

新工藤出世たけふし大紋おほいもん

柱むらじ

二

富川房信画

熊谷くまがやなな捨山

寶曆たから八やち辰しん



熊坂誕生記

三

延享のべ三さん丙寅ひょういん



熊坂くまがさ長範ながのり一世いちせい語ご古跡こせき松しょう柱むらじここせせままののままつつ 二

繪師 富川吟塵

安永やすえい三さん午うま
元もと松しょう通と村むら彌や兵衛べゑ

熊井くまゐ太郎たろう源げん八兵衛はちべゑ

三

富川吟塵画

久米くみ豊とよ勝かつひひかんかん櫻おう

寶曆たから一いち二に壬午にんま

丈阿作

鶴屋

糸平いとへい内うち后ご像ざう物語ものがたり

柱むらじ糸いとのの平へい内うち 二

安永やすえい元もと壬辰にんしん

富川房信画

奥村

新 たへまの 富川房信画 始 柱 ふり 志 やり 二 明和七庚寅

富川房信画

鶴屋

⑦ 新 たへまの 倉治山忠儀生不動 柱 い 不動 三 明和六己丑

富川房信画

鶴屋

⑧ 出世の羽團 柱 は うち わ 三 明和七庚寅

富川吟雪画

村

車塚曾我物語 柱 け け い い 坂 二 明和元

鳥居清秀画

明和元

十二行 池ノ端中島屋製

九街由輪高曾我

二

怪談たてぬきくろく

明和四丁亥 山本

君臣鑑

一

新 たへまの 軍法伊澤硯 富川吟雪画

二

桐

ク

三六

新軍法白かぬの猫
富川房信画

柱のたかぬ

三

明和八年卯
鶴長

ケの部

傾城嵯峨物語

文阿戯作

二

傾城つりかぬ草 柱つりかぬ草

二



五人 傾城唐土原

柱五人そが

三

安永二癸巳

藝盡八百万屋

明和八年卯

げんかいが島 柱 他一げんかいが島 二

兼好草の枕 柱上 草のまくら 二 寶曆一辛巳

建久四年のし、武者 明和六己丑

① 璣金釣竿の由来 柱げんきん 二 寶曆二壬申

作者 和祥 鶴屋

十二行池ノ端中島屋製

源九郎狐出世はなし 柱源九郎 二 寶曆一壬午

文阿作



① 源家太平樂 柱太平樂 二 明和四丁亥

鶴屋

源氏閑運友切丸 柱ともきり 五

鶴屋

の明和三年に鱗形屋板にて源氏重代友切丸とよみのあり

① 新げんじ榮の若杉 柱げんじ 二

▲ 川馬吟所 式丁目

新末

源氏重代劍の宮居

作者 和祥

寶曆一三癸未
鶴屋

源氏友切丸

五

明和三丙戌

賢女花深小袖

明和元甲申
鶴屋

巳

元服朝比奈 柱げんやあきふ

二

寶曆一己
鶴屋

富川房信筆

十二行 池ノ端中島屋製

源平

軍配團 鳥居清満画

柱軍配うちけ

一〇

明和八年卯
鶴屋

源平はちかづき姫

柱はちかづき

三

安永元壬辰
松村彌兵衛

繪師 富川吟雪

この部

新板 弘徽殿

桂かきえん

二

延享五戊辰

新板 下總

香取 鴻巣 禿倉

桂かきえん

二

安永二癸巳

鳥居清満画



紅白三人女

安永二癸巳
山本

紅白曾我物語

桂こけりけく

二

明和九壬辰

富川吟雪画

紅白武者何小中

丈阿作

寶曆二壬午
鶴屋

① 弘法大師御本地

柱こしらへ法

三

寶曆五乙亥
村

金の長者

柱こしらへ

三

繪師 富川吟雪

古今兵親玉

安永元壬辰
松村

十二行池ノ端中島屋製

後三年奥羽の録

丈阿作

寶曆一二壬午

後三年信夫ぞめ

柱後三年

三

明和三丙戌

鳥居清満画

鼎我作

△

子四天王始

三

延享三丙寅

鱗形屋



伊勢紙子
日向半切

五夕酒酌酌物語

柱三十三百

三

明和八辛卯

鳥居清經画

鶴屋

新御所しんごしよの都の飛梅とびうめ

柱はしらさくら

三 明和五戊子

△川馬喰川 二丁目

五節句始り

一

△延享三丙寅

源頼朝古戰場鐘懸松 柱はしらかみかた 二

五重のいしき

安永元壬辰 村田

十二行池ノ端中島屋製

新あらた現いま在ある 鬼戯おにあそび

柱はしら鬼おにとりのやれ 二

△明和五戊子

鳥居清満画

○明和八年に彦信画、杉村版より鬼とりのやれを移し、このもの出づ

こわいをかゝい鬼の尻

△明和六己丑

碁盤忠信力士物語

△明和四丁亥

通盛とんせい 戀路の丸木橋

柱はしらまゝさけし 三

△明和五戊子

鳥居清経画

丈阿作

△

新一戀塚物語

柱こいつり 三

延享三丙寅

岩

鯉のたま鯛の鳴神海川水魚の交

柱うみ川 二

村

鯉の瀧登り

柱こいのたま有り 二

富川房信画

辰

福彦福引

柱あはせろ 二

安永元壬辰

村 村田

鳥居清経画

十二行 池ノ端中島屋製

五百八十七曲

二

△

小杉の内府

柱しけり

三

寶曆九己卯

△

新子持新子持四天王再切

繪師 富川吟雪

三

鶴屋

新一惟高仁高とらゝみ諱ひ

柱他丁位ありき

二 寛延三庚午

新板 一根元石橋山 柱石はー山 三

④

和田根元草摺曳 柱 二二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇 五

④ 明和二乙酉年

權五郎二人景政

④ 明和五戊子
おく村

新板 今昔浦島咄 柱 上中、うらしま 三

④ 明和四丁亥
西宮

十二行 池ノ端 中島屋製

新板 今胎 仁王門礎

三

④ 明和四丁亥

御金比羅敵打羽宮物語 柱 けみや 五

安永元壬辰

富川吟雪画

葛屋

婚禮塵劫記

一


コ

四四

三太(あは)
三代菅笠

サの部

物册五
一西行法師一代記 柱西行 五

つた屋

相州矢立杉

延享元甲子
山本

十かたきん平
渡邊竹のな鬼熊退治

山本平七郎義信 立音 作者画 山本義信

ささのし
山 彦番二 ちんけ

坂田金平

三

富川房信画

鶴屋板

サ

四五

十二行池ノ端中島屋製

酒田の金平入の鮓

明和七庚寅

○安永五年に幸りて坂田金時一代鮓と改題再板せり

嵯峨釋迦如來開帳 柱嵯峨 二

明和七庚寅

北尾重政画

村

新入道千足犬 柱千足犬 三

村

柱魁 三

鳥居清満画

○佐々木盛綱藤戸の渡り物務こ

十二行池ノ端中島屋製

酒餅和合無問の鐘

寶曆八戊寅

新佐々木藤戸問答 柱ふぢとまんどう 二

明和二己酉

鶴屋

○佐々木三郎家戸日記とりものもある歟

巴佐々木稚草 柱佐々木ささ草 二

安永二癸巳

繪師 富川房信

鶴屋

源五兵衛紅染當世模様 柱なつさくら 二

鳥居清満画

村

聖一 提彦松浦軍記 柱大の、長しや 二
富川房信画

鶴屋

五冊 寶盛一代記 柱さぬもり 五

蔦屋

寶盛本末記 五

寶曆七丁丑



さの 金毘羅がし 二

鶴屋

繪師 富川吟雪

十二行池ノ端中島屋製

澤邊のあやめ 柱さあべのあやめ 二
富川吟雪画

澤田ここのがし 柱さあた物語 三



今山夜中山邪正物語 柱小夜中山 二

鶴屋

浦佐用姫望夫石 柱さよひめ 二

明和四丁亥

さしひめむれふる山

寶曆一〇庚辰



四談記

三

四やーき残の梅

明和六己丑

山本

新^新草^草猿^猿犬^犬出入^{出入}櫻^櫻

柱さるいぬ出入

二

寛延元戊辰

十二行 池ノ端中島屋製

新^新猿^猿影^影岸^岸變化^{變化}退^退治^治

柱さるを巻

三

明和七庚寅

富川房信画

鶴屋

かさむかーはあし

柱さるかに

二

猿^猿蛸^蛸鼈^鼈大^大喧^喧嘩^嘩

安永元壬辰

山本

さる塚^塚物^物かくり

寶曆二壬申



新猿廻春花婿 柱さるまはー春の花むこ三
富川房信筆

三十三間堂

文阿作

明和五戊子

三條小鍛冶

柱小かち

三



三世相袖かみ 烏居清經画

柱上三世相
中下三世相

二

明和五戊子
山本 丸卷

三千三百阿漕か浦

烏居清經画

三

明和六
鱗形屋板

三匹猿

柱上きんいせり
下

二

繪師 富川吟雪



相摸入道都軍談

三十五丁

酒田公時大和廻

公時やまめくり

五十二丁

烏居清重画

シの部

新 思案閣女今川 柱女いまか 三 明和四丁亥

しまわたり
(朝夷島渡)

四季の土用干 三

四國へんろ(仇討道物語)

四季の富貴 延享元甲子



獅子大王 二

甚四

七人平親王 桂平

二

七ふく神惠方游

安永二癸巳
伊勢次

静代舞樂のつみ

丈阿作

寶曆二壬午
山本

四天王化物退治 桂四天王はけ物をいじ 三 安永三
繪師 富川吟雪

十二行池ノ端中島屋製

新板 四天王昔扇 桂あつき 二

鳥居清経画

桂子作

明和八年卯
鶴屋

新板 信夫摺忠臣鑑 桂上野信 三
鳥居清満画

⑩西宮

周防の内侍 桂

三

鳥居清満画
。清盛立敵初戲場平家連中の桂三周防の内侍とあり同本あり
重盛味実
執著一念物語
延享元甲子

山本

新執著胸緋櫻 柱 あいぢやく 二 明和元甲申

⑩ 西宮

澁谷金玉大島臺 柱 金玉丸 二 明和三年戊



富川房信画

奥州潮竈川原院 三

島傾城枕軍談 三 寶曆元

十二行 池ノ端中島屋製

和漢軍配 木起原 柱 せきき 二 寶曆一三癸未

鳥居清満画



正月由來延年の壽 明和八年卯



聖徳太子 柱 聖徳 二 明和八年卯

舍那王丸門出壽 柱 やなわまる 二 明和六年巳丑

奥村

シ

五二

青本に編
入せり

四勇吉例のいきほひ

明和五戊子
奥村

出世太平記 柱 出世たい平き 五

勝川春道画

新酒 天とどしじ 柱 山入 五



酒吞童子物語 柱 二

富川房信画 鶴屋

十二行 池ノ端 中島屋製

俊寛 柱 かんかん 二



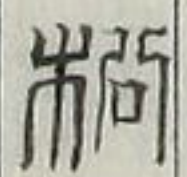
筍齋 柱 一ゆんさい 二

鳥居清経画 安永元壬辰



新諸願連り 柱 二

繪師 富川吟雪 午の年



食類化物二天作五 明和二乙酉



板新

諸道まの息才そくさい男おとこ

柱すゐまの 二

寶曆八戊寅

○豆すけ

振袖しるし髪かみ長蔓ながつたけ葉は婿むこ

柱すゐかつらむこ 二

明和七庚寅

白波しらなみ寝ねもの語

明和四丁亥

新板 白旗しろはた由來ゆらい

三

岩

○延喜三年、板にて同名の思存ありか

十二行池ノ端中島屋製

新板 白鼠しろねずみ妹背いもうちの中なか立

柱すゐろねずみ 二

延喜三丙寅



新板 未

吝坊しんぼう竹子たけのこ諍しやう

二

寶曆元

富川房信筆

鶴屋

新板 信玄しんげん一代記

柱すゐ信玄一代しんげんいちだい 五

鶴屋

信玄しんげん軍配ぐんぱい六機むつき傳授

明和四丁亥

シ

五四

新子何つ盛 柱あつ

二

鳥居清重画

寶曆一辛巳 村

新西おとく 柱西おとく 七丁半

清經画



仁心蟹物語

二

富川房信筆

新撰天神記

寶曆一三癸未



新おそはくし 柱一

一

新鉢りつぎ 柱はちかつき 二

繪師 富川吟雪

西村

新板鳥づし 柱花鳥

岩戸屋

新真鳥實記

三

鳥居清重筆



新文字急つゝし

二

新しん尋しん陽やう江かう出しゅつ世せ握かく々々
鳥居清倍画

柱ちゆう上じやう下げ権けん五ご分ぶん二

明和元甲申
⑩ 西宮

新義經記

延享元甲子
山本

スの部

新助六 二代政宗 柱すけろく 三

安永元壬辰 鶴屋

新謙訪 澹性兜 柱天もくさん 二

明和四丁亥 鶴屋

巴 須磨浦青葉笛 柱源の浦ちをの笛 二

安永二癸巳 鶴屋

京水添櫻

五

明和七寅

住吉誕生石 柱すこよー 二 寶曆一二午
富川房信筆

セの部

新板 盛景兩面鏡

三

奥村文志政房画

延享四 通油所 奥村

せいめい (阿部晴明部) 有瑞智惠鏡

○主馬の登久と景清の物語あり

新板 政道狐宿替

柱四こく

三

鳥居清経筆

⑩ 西宮

巳 清明二本菊

柱清明二本ときく

二

安永二癸巳

鶴屋

生妖浪華錢設

明和五戊子

奥村

静代舞樂鼓

安永三甲午
奥村

猩々小僧誕生記

二
明和六己丑
奥村

猩々酒屋

三

鳥居清倍画

せこのこきくく 程

三



十二行池ノ端中島屋製

世間かき教訓はなし

明和三丙戌
鶴屋

世間かたき質屋の穴

安永元壬辰

新編 大原木の始 柱大原里 三



攝州 經島 爺物語 柱かそりろ 三

明和二乙酉

殺生石水昌物語 柱すいりやう 三 明和七庚寅

新末 雪中濃雨敵 柱雪中の雨かたき 三 寶曆一三癸未
富川房信画 鶴屋

瀬尾 太郎 老樹薪水 三 明和五戊子

丈阿作

蟬丸児手拍 柱上下中 三 明和元甲申

戲作 (巻) (觀水堂丈阿)

十二行 池ノ端中島屋製

小倉 善惡二面鑑 柱二めんかづみ 三 安永元壬辰
鳥居清經画 松村

千鶴萬亀長者の松 明和七庚寅

村田

千本ざくら 柱 二

鳥居清重画 (△)

宗祇 俳諧 行脚物語

ソの部

二

岩

増補 うら嶋

寶曆二壬申

△

増補 甲陽軍

桂山もかん介

三

板元 西宮

新板 増補 高館日記

桂高館

二

吉 榎本

六〇

十二行 池ノ端 中島屋製

青本に編入
せり

曾我一代記

桂 かみいのかたがきか、むかしのうらまへ

一〇

鳥居清経画

村

曾我一代記

桂 伊豆日記

五

蘭徳齋画

文化作

曾我武田目貫の因縁

明和三丙戌

鶴屋

曾我の矢の根

二

富川房信画

十二行 池ノ端 中島屋製

風流

大福長者物語

桂

二

明和五戊子

富川房信画

鶴屋

蘇虫花合戦

明和七庚寅

山本

その
むかし 紅血 鯛血 謂 桂

安永三甲午

鳥居清満筆

村

村

村

お徳兵衛 漆いろ重井筒

桂

二

明和四丁亥

村

鷹塚村(安)
鷹塚村(舊)

大益天神記

夕の部

一〇

新大藏冠録倉開 柱のまくらひりき 三



胎内十月 柱上たい内十月 二

富川房信画 鶴屋

大農起魔理 柱大のきまり 二 明和三丙戌

富川房信画 鶴屋

夕

六二

十二行池ノ端中島屋製

大悲の犬朋輩膏藥握尻 柱大ひのちぢまふふ二

丈阿作

(九小)

太平かぶと人形

山本 明和四丁亥

五冊一太平甘露雪 柱かんろの雨 五

鳥居清湍画

鶴屋

太平記綱目 柱太平記かうまく 一〇

十二行池ノ端中島屋製

太平春駒

柱はるこす 二

无名子作

新板道成寺根元記 柱乃成寺 三

寶曆八年寅 又延享三年寅

世當後世象質 二

鳥居清経画

高砂相生の松

明和八年卯 奥村

高砂十歸松

三

奥村文全利信画

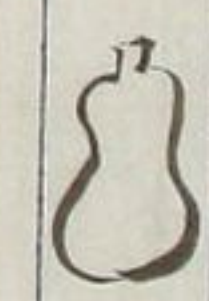
奥村

高圓嶺村雲物語

三

明和三百以

富川房信画



成寶寺富貴の榎

柱八ん天 二

寶曆四

鳥居清重画



竹田大唐縹

柱結城座 二

鳥居清經画



武田勝頼猛勇談

柱 | 三

武田信玄初軍

柱信けん初軍 二

寶曆三癸未

富川房信筆

鶴屋

武田法性兜

柱武田 二

明和元甲申

富川房信画

奥村

巳新但馬國盛継松

二

明和六己丑

富川房信画

鶴屋

他心通秩父の重忠

明和四丁亥

風新 龍宮曾我物語

二

繪師 富川房信

桐

新 伊達深重裱

柱上りさきつま

二

明和三

鳥居清経画

戯述丈阿

葛屋

新 七夕祭由来

柱たなほた

二

つゝや

十二行 池ノ端 中島屋製

煙草戀中立

二

鳥居清倍画

平重盛小松名字

二

明和二乙酉

奥村

玉つーす

寶曆二壬申

玉ものまへ

三

延享三丙寅

夕

六五

だるまの芦舟

明和三年戌



壇浦二人教経

三

富川房信画

新版 丹後國鐵燒地藏 柱かなやきぢぢぢ 二
鳥居清満画



新版 丹波爺打栗

柱 打栗

三

延享元



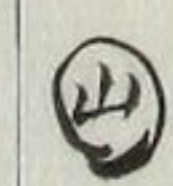
十二行池ノ端中島屋製

忠信基盤勢

柱 忠孝文とふ

卯の年

新版 當世たてむすめ くてもむすめ 三十寿



可除

千の部

新地打薬罐平 柱やんへい 二

明和九壬辰
鶴屋

誓勇士宮戸作續 柱 二
鳥居清長画

天明二壬寅
岩戸屋

力こぶ妹背の増鏡

丈阿作

寶曆一二壬午

力瘤胴突柱 柱力こぶ 二

鳥居清経画

子

六六

十二行池ノ端中島屋製

力こぶ松枝の藤

明和六己丑

山本

知光一休はな

安永三甲午

奥村

智臣魁先後軍配 柱前宮さきかた 三

地口行燈 柱新ちくち 一



十二行池ノ端中島屋製

智一兒源氏三略卷 柱十二ん 三

鶴屋

千鳥富士淺間物語 柱上下 千鳥のめいり 三

鳥居清倍画

新一磐三傑與市 柱さるゝ与市 三

明和八辛卯
鶴屋

五册忠孝二代楠 柱二代の楠 五

鶴屋

忠義の嶋臺

明和五戊子
馬喰町三丁目
△川

中將姫誓糸 柱 中將ひめ 三

△

中將姫物語 二

新 忠臣瘤丸あざ丸の太刀 柱上 二 明和元
下 あざ丸の太刀
鳥居清重画 ⑩ 西宮

十二行池ノ端中島屋製

忠臣今川狀 三

富川吟雪画

忠臣高名鑑 柱ちりりんきうめう 三
富川吟雪画

忠臣刀箱 柱キ 二 寶曆元 寺未 村

新 忠臣假名書初 柱かなかき初 三 明和乙酉
鳥居清満画 ⑤ 富

忠臣藏

柱忠臣がら

二

鳥居清満画

九小

忠臣藏目付繪

一

延享三丙寅

△

忠臣節分儺

二

戯述 丈阿

④

勅宣養老の瀧

安永二癸巳

山本

十二行 池ノ端 中島屋製

鎮西八郎一代記

柱ちんせい

二

寶曆二壬申

△

ちんせい八郎行狀記

柱ちんせい

五

明和七庚寅

△

ツの部

繪通本 俗通 吳越軍談 柱一三四五 二三四 吳越

板元 ⑩

通俗 三國志 柱三國志

一〇

明和九壬辰

北尾重政画



新板 通天橋 梶縁

三

富川房信画

作奴化物退治

三

奥村利信画

ツ

七〇

十二行 池ノ端 中島屋製

新角磨威徳物語 柱つのまる 二 安永三甲午
板寶劍 鶴屋板
繪師 富川吟雪

兵物語 二

鳥居清経画

新妻戀箱荷由来 柱上つまひり
柱下つまひり 二

山

艶くらべ二人小町 柱二人こまち 二

安永元壬辰
村田

十二行池ノ端中島屋製

鶴竹情の商人 二

芳月堂奥村文志政房画 奥村

鶴の丸元服朝比奈 柱つるの丸 二

富川房信画 奥村

てんがら田
樂記原

テの部

丑辰新貞女戀日雙六 柱乞目双六 三

富川房信画

鶴屋

朝鮮人行列 柱さうどん 一



卯て手柄淵物語 柱てかうめふち 二

明和八辛卯

富川房信画



鐵てつ破石碎話 柱てつとせきあし 二

鶴屋

テ

七二

爺打栗戀鄙女

明和八年卯

てまり歌も、小車

明和二年酉
村田

いろは寺子短歌

柱 ちろこ 二

寶曆一二壬午

鳥后清

倍致 満致

〆

天神記幼菅原

柱 おさな 三

明和九年辰

富川吟雪画

〆
西村

十二行池ノ端中島屋製

青幸に編
入せり

天神御一代記 柱 天

五

蘭徳画

〆
西村

新板 天智天王 柱 ち天王 二

〆

新板 天長平安都 柱 天々 三

明和七年寅
鶴屋

富川房信画

〆

天王寺亀井の水かみ

明和六年丑

〆

トの部

童子くわね雛形

丈阿作

寶曆一二壬午
⊗

五手箱 東方朔九千歳

柱まろぼろさく

三

明和七庚寅
奥村

富川房信画

新板 東邊木捨刀作

柱まろへんわく

三

明和七庚寅
鶴喜

富川房信画

新板 渡海苞徳兵衛嶋

柱まろいこやけ

二

明和八辛卯
鶴屋

ト

七四

十二行 池ノ端 中島屋製

年玉いまつ噺

三

文角門人奥村文志利房

奥村

新土肥鬼鹿毛駒

安永元壬辰

繪師富川吟雪

鶴屋

遠西段平安城

柱 一、二、三、平安城
四、君臣鏡

四

鳥居清満画

。将門軍記なり

幼頼遠目鏡茂右衛門

三

明和八年卯

鳥居清経画

△



十二行池ノ端中島屋製

富川源右衛門物語

柱

三

友だちばな

柱 友だちばな 二

鳥居清経画

鳥の跡朝顔もの語

丈河作

寶暦一二壬午

△

十團子始

延享元甲子

△

ト

七五

とんだ茶釜 柱とんだちがま 二 寶曆一三癸未
富川房信画 村

十二行池ノ端中島屋製

ナノ部

中洲花小車 柱ちりーや 二

鶴喜

○市川八百藏得脱記とあり

①那須共市之劍の的柱あゝのまゝと 三

村

新板 知すの舟遺恨 柱こゝいん 三

延享二乙丑

七色保命丸 柱七いろ 三

なりひら吾
婦客大カ業
平)

未 七ツ目魚と化物退治

二

安永四乙未

七廻り五関破柱上五三ろやろり
下五ろろ破り

二

明和元甲申

茶飯田樂の記原

柱でんかく

三

明和元酉

奈良大佛の傳

塩梅
茶飯田樂記原と記せりあり

安永二癸巳

鳴神化粧さくら

延享元甲子

新 男色鑑

二

寶曆二

鳥居清隱(倍)圖

男色北の梅

二十丁

明和元酉

戯作 丈阿

九甚

新 男色狐敵討

人おつ田やま 毛置は下子
柱男色きつぬ

明和元

四三二五二三
とん

版訃

新

男色太平記 柱男色太平記

三

明和三丙戌

鳥居清濤画

鶴屋

南朝太平記

延享元甲子

山本

湯尾峠 孫物子 男色太平記とよまのあぶら如し、蓋同本歟

二の部

義忠 錦戸合戦

柱にき戸

三

延享三丙寅

二代のほまの醫者

安永元壬辰

物冊五

二代鉢之木

柱代はちの木

五

安永三甲午

鳥居清濤画

つた屋

日蓮上人御法海

二

五冊一
新田黒丸合戦 柱ころす 五
鳥居清満画 明和五戊子
鶴屋

新田楠智略物語 三

新田四天王 柱四天王 三

鶴屋

日本商人の始 柱にーのや 三

十二行池ノ端中島屋製

日本琴濫觴 安永元壬辰
山本

日本蓬艾の始 寛延二己巳
山

作者画工 山本重春

二人四郎兵衛再花曾我物語 柱陽向曾我 二
鳥居清経画 明和七庚寅
山本

蜷川新左衛門 三 寶曆一二壬午

畫工富川房信

双仁ナカノミ京水ナカノミ染櫻

鳥居清満画

五

明和七庚寅



二人つま

柱

二

鳥居清重画



二人與作二人八藏出世駒引錢

二

入梅左衛門名所井筒

寶曆八戊寅



十二行池ノ端中島屋製

勾代衣

柱ま不いふくろ

二

鳥居清経画

皇女三宮みよのみやの追風おひかぜ

柱ま女三の宮

寶曆二壬申



鳥居清満画

仁王門

流なみ仁德天皇名哥なご竈

柱ま不いらい山

二

富川房信画

明和五戊子
鶴屋

二

八〇

新田一代記

柱一四新田
他につた 一〇

画工鳥居清満筆

村

○本書黄表紙のりより時代より鑑みて里本に入る

十二行 池ノ端中島屋製

又の部

ネの部

辰ぬえの誕生

柱ぬえのくんだやう 三

安永元壬辰

富川吟雪画

以世次伊勢次

子子子子子子

寶曆八戊寅

△

ぬずみ嫁入

二

西村孫三郎重信筆

鼠嫁入編床

柱鼠がめ入

二

明和八年卯

鶴屋

又 禾

八一

鼠嫁入雛形 柱ぬずみ 二
富川吟雪画

① 子聖之由來 三

鳥居清満筆
○本書黄表紙のれきも時代より異存にのり

村

新段 猫もくもく 珍説 柱ぬずみ 二

鳥居清秀筆
○外題画は勝川凡

④ 西宮

新段 寝物語源氏系図 柱ぬずみ 二

鳥居清重画
○外題画は別くそのはなま改り似たり

⑤ 西宮

十二行池ノ端中島屋製

ノの部

野間 古跡長田貝 三

のりかけ曾我 柱のりりけそが 三

傳樂山人作

乘初奥州黒 柱のりそめ 二
寛延元戊辰

△

青幸に編入
サリ

ハの部

とにかい物ハ付 柱まる小

六丁

丸屋

賣炭おきなりの文車



明和乙酉

放下僧石の枕

柱ほりかぎ

三



明和四丁亥

放下僧今様姿

三

明和六己丑
すゝ板

新編木
三八 疤瘡除 柱ほくそく 二 寛延二己巳
奥村利信画

白梅泰平祀 柱上たい平のはだぎぬ 下太平のたぎぬ 二

富川房信画 觀水堂丈阿作

新物大穴底 柱上くくり坊 下隠り坊 二

丈阿作 九屋

化物親玉畫 柱まけもの 二 安永元壬辰
繪師 富川吟雪 鶴屋

十二行池ノ端中島屋製

妖九十九咄 明和五戊子
奥村

化物車引 柱化くるま引 二

繪師 富川画

新妖物十番軒 二 明和元甲申

戲作丈阿

化物曾我物語 二 延享三丙寅




化物大福帳 柱上 化物大福帳 柱下 大福帳 二 明和三丙戌

新 化物 しんた 茶釜 二 明和七

化物日高川 柱上 日高川 三

新 化物一家 しんた いっか 髪女 かみめ 柱上 髪女 二 明和七庚寅

 板形 元孫兵衛 又鶴巻

十二行池ノ端中島屋製

化物秘密問答 柱上 見こり 柱下 見こり 入道 まのこ 二 明和元甲申

化物見越入道始 二 山本

化物三目大不 うい 二

繪師 富川吟雪 明和六己丑



新板 妖物入剛屋敷 柱つりあやき 二 安永三甲午
繪師 富川吟雪 鶴屋

新板 妖怪雪濃段 柱つりあやきの段 二 寶曆一三癸未
富川房信筆 鶴屋

化物義經記 柱つりあやきの段 二 寛延三庚午
鳥居清濤画 鶴喜

新板 鉢かつき嬾振袖 三
鳥居清經画

十二行 池ノ端 中島屋製

新板 鉢冠水玉玉 柱つりあやき 三
鳥居清經画

鉢冠姫物語 柱つりあやき 二 安永元壬辰
富川吟雪画

八人藝座敷の鸚鵡石 安永二癸巳

新板 八幡太郎一代記 柱つりあやき 五 鶴屋


八幡 太郎 鎧 籠

三



もつがつは 柱

三

 清盛立敵 重盛和實 初戲場平家連中 柱 周防内侍三 明和八年卯
鳥居清満画 鶴屋

初春年玉始 柱 一玉 二 明和三丙戌
鳥居清経画



十二行 池ノ端 中島屋製

徳若 初春万歳壽 柱 一 さい 三 明和元甲申
富川房信画 奥村

新板 初夢かんだんの枕 柱 一 二 三 三
枕 枕



花あやめ二人金平 寶曆二壬午

丈阿作 鶴屋

新板 花重窟内裏 柱 花重 二 延享四丁卯
奥村文志政房画 琴鶴作



新 一 華 蒙 三 井 鐘 柱 上 中 下 三 井 の 鐘 三 明 和 五 戊 子 九 甚

話 加 減 寤 藥 柱 不 い ころ 二 寶 曆 一 二 壬 午

鳥 居 清 經 画 ○ 賣 薬 の 廣 告 あり 丈 阿 作

花 寸 町 葛 城 山 明 和 四 丁 亥 村 田

新 一 英 督 名 護 屋 柱 上 中 下 三 井 の 鐘 三

丈 阿 作

十二行 池ノ端 中島屋製

物冊 五 金 比 羅 御 利 生 敵 打 羽 宮 物 語 柱 け み や 五 安 永 元 壬 辰 伊 勢 次 又 葛 屋 富 川 吟 雪 画

原 田 次 郎 柱 上 中 下 三 井 の 鐘 三

七 福 神 替 名 役 割 春 遊 座 鋪 狂 言 柱 千 本 二

綱 本 暁 春 霞 清 玄 佩 柱 上 中 下 三 井 の 鐘 三 明 和 六 己 丑

鳥 居 清 經 画 △

新板 春駒 魁座 鋪軍法

柱 けりこま 二

⑩ 西宮

はるなさん 柱

一

⊕

座本 豊竹 肥前 椽 新上 瑠璃 盡 番場 忠太 紅梅 籠 柱 さんば 忠太 二 寶曆 一 三 癸 未

⊕

萬民大福帳

⊕ 明和 二 乙 酉

十二行 池ノ端 中島屋製

花粧 對兄弟 柱 ついの兄弟 三

鳥居清經畫

鶴屋

①馬鹿羅州安林主物語 柱馬鹿羅州 二
 繪師富川吟雪
 ○本書刊行明和元年、安永五年の間にあり

ヒの部

新 東山獅子谷物語 柱あぐ谷 二

⑩西宮

新 東山獅子谷物語 柱あぐ谷

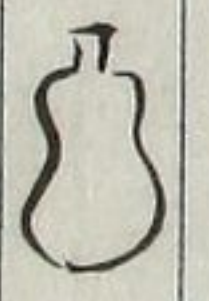
⑨山本

鳥居清満画

新 東山智勇盧 柱ひりー山ちんゆー 三

明和八年卯
鶴屋

新 彦根女兵法昔噺 柱ひこぬ 二



人丸(明石馮頭
草紙)

ヒ

八九

十二行池ノ端中島屋製

祕事枕親子車

五

明和五戊子

飛彈たくく指南車

寶曆八戊寅



筆勢虎のほろ

明和五戊子
丸甚

秀郷龍宮巡

二

鳥居清満

十二行 池ノ端中島屋製

琵琶の海蟬丸實記 柱蟬丸實記 三

明和八辛卯



日向景清

延享三丙寅



鳥居清満筆

貧のぬすく戀の歌

安永二癸巳

山本

人麿一代記 粒ひとまる 五

壬辰(安永元)

鳥居清満画

片

○本言黄表紙のりとも清満の紙の思本に入る

九〇

フの部

新風流安方妙薬 柱何れりの薬 三

繪師富川吟雪

安永元壬辰
鶴屋

新風流采女物語 柱うねり物語 三

(岩)

新板

風流鱗魚退治

二 延享二

鳥居清信(画)筆

(山) 板元 大傳馬三丁目
山本丸左衛門

上りつひむらさきみくろのつけをくまひらきしお登のしほりうつひまを元なきあはれ
下りて平家経道信のむらさきしほりうつひまを元なきあはれ
風流鬼よ瘤 柱鬼よこむらさき吐 二

富川房信筆

風流 浮世榮花枕 柱 忍いぐお枕 二

安永元 桐

新 風流 鬼女面福貴卍 柱 富貴卍 三

明和八年卯 桐

午 風流 仙人花聲 柱 せん人の花むこ 三

安永三甲午 奥村

風流 武文蟹 柱上 武文うま 柱下 武流とくろんりふ 二

安永元壬辰 山丸

十二行 池ノ端 中島屋製

風流 達磨隱居 柱 風流とくろんりふ 二

富川房信画

風流 なつみ 鉢木 柱 たちの木 三

安永元壬辰 伊勢次

風流 二人兼ひら 柱 二人がねひら 二

亥の年 桐

風流 野路間玉子

明和五戊子 奥村

新風妖相生の盃 柱むけもの 二 安永三甲午
繪師富川吟雪 鶴屋

風流名護屋鑷子 三 ①山 明和二乙酉
丸小

新風流日高川 柱日より川 二 安永二癸巳
鳥居清重画 ①山

風流左り甚五郎 柱上左りちんみと
下ぶよりまみと 二 明和三丙戌
富川房信画

十二行池ノ端中屋裏

新風流妻鹿庄二王三郎大太刀 柱上二王三郎
柱中仁王下 三 明和八辛卯
富川房信画 桐

風流矢根朝比奈 柱やの縁 二 明和五戊子
富川房信画 鶴屋

風流るい田分 柱いりいりこけ 三 明和七庚寅
富川房信画 奥村

新風流女蟬丸 柱せきま 三
富川房信画

フ

九三

風流女忠信

明和元甲申
鶴屋

新風流女山岡

三

明和二
山

画工不記名

重出

風流大さかづき丹波山 桂上九小大さかづき上
山入大さかづき下九小

二

明和七庚寅
山本

鳥居清経画

辰風振袖べんけい 桂べんけい 二

繪師 富川吟雪

山

○書写山の鬼若丸ふくめ村十一鳥居が娘おこなと理合一子を生い後其娘を
義経の北の方の身替にまづる筋あり

十二行池ノ端中鳥屋製

重

風流大さうづき丹波山 清経 明和七

風流一柳堅田龜善悪物語 房信 ヲ八

風流一甲斐源氏再時宗 房信 ヲ五

風流一鬼女面福貴州 房信 ヲ八

風流大森考七 鬼女物語 房信 ヲ五

風流二葉の前 魚鳥大合戦 清経 ヲ

風流一龍宮曾我物語 房信 ヲ

風流一仁徳天皇名哥竈 房信 明和五

風流一柳太郎勇力競 ヲ

凡柳太郎勇力競 ヲ

フ

九三ノ下

補

①風流奴豆齋始 柱やつこふ 二十丁

繪師富川吟雪
外題表紙ニ江ノ西南ニ坂ヲ有リ奴ノ親玉糸巻大由

十二行池ノ端中島屋製

物冊五 笛竹隅田河 柱ふ忍竹角田 五

もと鶴

福壽草花咲ぢい

△ 明和ニ乙酉

福白髪山の神由來 柱ふく志らり

◎ 明和五戊子

福白髪若彌奉壯士

◎ 明和四丁亥 村田

フ

九四

福神十二段 柱 福神十二段 二 明和五、戊子
富川房信画 奥村

福人嫁 あらまひ 延享元甲子
山本

福德三年目 安永元壬辰
伊勢次

新板 福德正直の頭 柱 りくれさと 二 西宮
鳥居清重画

十二行 池ノ端中島屋製

福德白狐珠 安永元壬辰
西宮

福理 萬穀饌 寶曆七丁丑

福 附物かたり 延享三丙寅

新板 富士手玉の元祖 柱 延享三丙寅
上中下 手玉の元祖 三 寶曆一二壬午

鳥居清満画 甚

富士箱根 曾我舊跡

丈阿作

三

⊕ 明和五 戊子

伏見沖津白波

三

⊕ 寶曆七 丁丑

新二面 凱草刈鎌

柱二 おりて

二

⊕ 明和七 庚寅 鶴屋

富川房信画

○ 卷中人物、大友の真鳥、すくねの初めみち、むわの中納言等あり

ⓑ 二思現在 鶴

柱中 上 對 思 現在 ぬえ

三

⊕ 安永二 癸巳 鶴屋

二つ鷹鳥の葉

三

鳥居清経画

○ 有馬のお後、修治屋の住り

翳帯日高川

柱樽 不いひか川

二

⊕ 安永二 癸巳

鳥居清経画

觀水堂 丈阿作

山本

新二人 義経堀川合戦

柱二人 経

三

⊕ 明和三 丙戌

鳥居清経画

鼎 峨作

⊕

武勇法の花ぶさ

柱 上 中 下 武勇法の花ぶさ

三

鳥居清重画

⊕ 山

新 郎勇變化退治 柱物

三

〽
〽
〽

武勇問答

丈阿作

寶曆二壬午
山本

新 根神對面之琵琶
版 九

三

延享四
板元 〽
いせ屋

鳥居清満筆

新 不禮講昔咄 一 柱

二

延享五戊辰
〽

十二行 池ノ端 中島屋製

ふりりけがみ 上下程
中ふり分り

戲作 〽
〽
〽

武烈天皇儀

二

可除

〽
太物語

黒表紙
小本 二冊 三枚
画七丁

正徳三年己未
西村屋新板

〽
本書六段本の類あるべし

分福丹頂の鶴

〽
寶曆八戊寅

分福ちや釜

柱がえがく

二

安永二癸巳

鳥居清満画



分福功薬罐平

柱やうんべい 二

辰正月 新 安永元

板元鱗形屋孫島

の安永元年鶴屋の板に地打薬罐平よりのもあり

申

文武平安城

柱へいあん城

三

明和元甲申

鳥居清満筆

丈阿作

鶴屋

文武物草太郎

二

富川吟雪

武勇吉野山

柱

二 三

三

桂子作

西下丁のせ次

の義鐘ものかきりうり

ふくくのつと

丸小

以て延長七年に、玄蕃と改紀のつとやま、母とてや喜玉のつと、
宛母とある

へいじ(惠源
太平治合戦)

への部

平安城都さたの

寶曆二壬申



平家女護の島 柱女ゴノシマ

二

鳥居氏画



新平家物語 柱平

五

芳月堂奥村文角政信画

もとん
吉

兵庫の築島

柱上中下
つた島

三

鳥居清満画

丈阿作

兵庫名所往古話

二

明和乙酉
九甚

新紅血關血昔物語 柱上 下

二

寛延元戊辰
山

山本平七郎重春画作

紅血缺血物語

丈阿作

寶曆二壬午
山本

蛇かわづ大合戦

丈阿作

寶曆二壬午
山本

蛇蛙
山川大合戦

安永三甲午

べんけい 柱

三

鳥居清経画

弁慶分身石

柱ふんしん石

三

寶曆七丁丑

新變成男悟衣川

柱ふんしん

三

鳥居清経画

山

平家化物といち 柱
富川房信画

二

木の部

熟茶の始

寛延二己巳

作者画工山本重春

①山本

北條九代記

柱

五

酉の新板 室ノ三

鳥居清満画

新

北條時頼記

柱

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

五

富川房信画

北條時頼

政道明月院

柱明月院

三

安永元壬辰

鳥居清満画

①

北條三鱗根元記

二

明和七庚寅

○本書前出の北條時頼記一二の巻ありし

保名丸白狐玉 柱七いろ

三

鶴屋

蓬萊山

二

富川房信画

鶴屋板

星月夜優勇士

二

鳥居清重画

十二行 池ノ端中島屋製

五體惣 柱五たいそ

二

明和二乙酉
丸甚

マの部

實かち原ま鳶まの岩まや

安永元壬辰
伊勢次

正夢出世の門

明和元甲申
村田



百足乙姫
南一龍王

雑店ま寝間ま著浦島ま

柱たまたま二
三

明和八年卯
歟

鶴屋

鎮鳥大内裏ま寶の濱

柱たからのほま二

明和八年卯

鳥居清経画

村

まへの袖なり

明和二乙酉

新一天女新天女 板板龍龍女女 姆姆二二代代鉢鉢木木

五

◎

鳥居清満画

眞妻夫眞妻夫 那都羅那都羅 註

柱あとら

三

◎

明和七

万歳天狗の面

山本 明和六己丑

十二行 池ノ端中島屋製

万歳始り

柱まんざい

二

◎

延享三丙寅

万燈會贄物語

◎

明和八辛卯

ミの部

三浦衣笠百六壽柱百六下ふ記 二

明和六己丑

鳥居清満画



身替音頭金剛杖花高峯柱花のたかぬ 三

鳥居清満画 観水堂丈阿作

義士孝子身替児手柏柱児の手柏 三

明和七庚寅



みけんトやく柱

三



彌陀 次郎 踊大文字

三

寶曆七丁丑

陸奥 おやもた物語 白表紙大形

一冊十五丁

安永三甲申



陸奥 源平 武勇問答

みちのく まゝ小 二十丁

安永三甲申

山本少兵衛版

通油所丸巻

つゝ幅きりより丸巻義理あり

九十文 陸奥壺碑文 柱つちのいふこ 三

安永元壬辰

鳥居清満画



十二行 池ノ端中島屋製

陸奥 出羽 善悪和睡庵 柱 前宮せんあく 二

通盛 小宰相 戀路丸木橋 柱 すすきは 三

明和五戊子



三津扇仰向物語

新板 三鱗未明狩 柱 三つちのいふこ 三

明和元



鳥居清重画

三島倭孔明

五

序 睡酒亭老人誌

三友會 濫觴 柱とも忍の始

三

寶曆七丁丑



水江浦島 對紫雲 柱たまてはこ

三

明和八辛卯



鳥居清經画

みはいざんたん 柱

二

鳥居清廣画



十二行 池ノ端 中島屋製

三保松原 野良猫話 柱のらぶこ 二

鳥居清満画

丈阿作

三廻縁組帯 柱忍んム 二

明和乙酉



新 名香霞又橋 柱上中下 ちちのめいり ちちのめいり ちちのめいり 三

鳥居清倍画

十 西宮

都とりやき物語 柱都とり 五

鳥居清満画

丈阿戲迹



新三好長慶室町軍 柱一 五
富川吟雪画 安永三甲午
桐杉村

三善物かくし 三
延享三丙寅
⊗

新三輪山猿手柄 柱一 二
寛延二己巳
山本重春画
⊗ 山本

山莊後難朝緑刃 柱一 三
前宮二うなん

ムの部

昔の噂まかゝり鳥 寶曆二壬午
⊗

丈阿作

新板油の惚薬 柱一 二
鳥居清経画
⊗ 寶曆二辛巳

⊗ 昔祖父波女 柱一 三
鳥居清経画
⊗ 明和七庚寅

昔爺婆雀辰虫 二

新 舊昔鬼岩屋 柱 二 寶曆四甲戌
鳥居清重画

新 梅津の嘉門向梅 質 三 明和四丁亥年新板
鳥居清経画 八十二翁丈阿作

むこ入六部笠

明和元甲申
村田

武藏國やは天神

安永元壬辰
伊勢次

武者 柱 三

繪師鳥居清廣

通由町 鶴屋喜右衛門板

武者がみ元亨利貞

明和四丁亥

娘がし打おりの刃

安永二癸巳
山本

新 初夢娘 八人 三 明和五戊子
鳥居清経画 丈阿作

山本

夢中の妙薬

丈阿作

⊕ 明和五戊子

新紫式部

二

⊙ 延享四

メの部

名将智勇の鋒

二

鳥居清満画

新名所風俗金王櫻 柱金のてらどや三

富川吟雪画

安永三甲午 鶴屋

名筆俱梨加羅丸 柱くりからまる 三

明和乙酉

富川房信画

奥村

名物百物かゝり

二

安永三甲午 山本

腰

メ

一〇九

名木吉田社

寶曆九己卯

村田

目くら仙入目明仙人

安永元壬辰

伊勢次

目附繪猿蟹合戦

柱さるわよ 二

夫婦繪尽し

寶曆二壬申

奥村

十二行池ノ端中島屋製

物冊五

面向不背珠 柱めんりく 五

鳥居清満画

通明和六己丑
内所々々

めんりく 柱

三

繪師 富川吟雪

。人物は秋父の重安人まゝ姫

版訂

名香 而段に千鳥 衛 柱ちとりのめんりく 三

鳥居清信筆

⊕ 西宮

モの部

本津間の由來

寶曆一二五午

丈阿作



元木阿彌手柄齧

二

寶曆七丁丑



物草太郎

柱のくさ

二

延享三丙寅



新桃栗三平柳八兵衛

柱上
下 桃栗三平柳八兵衛

二

富川房信画

山 山本

風一桃太郎ウツクサ勇力競ウツクサ 柱山入也ウツクサ 三

明和五戊子
鶴屋

新ウツクサ後ウツクサ百ウツクサ太ウツクサ老ウツクサ壽ウツクサ草紙ウツクサ 柱ウツクサ太ウツクサ 三

安永二癸巳

桃太郎後日合戦 柱ウツクサ太ウツクサ 四

百千たかしの藏

安永元壬辰
伊勢次

桃々酒 柱ウツクサ々ウツクサ酒 二

鳥居清経画

欄

盛遠夢の浮ウツクサ

丈阿作

寶曆一二壬午

新守屋の大臣

三

延享三丙寅

ヤの部

役者名物略姿

二

寶曆七丁丑



役者目附繪 柱目付

一

鶴屋

優詞真鳥實記 柱まどり

三

鳥居清重画

艶男信田神力

明和五、戊子
馬喰所三丁目
△

ヤ

二三

十二行池ノ端中島屋製

やすなもののかこり

一

鳥居清倍画

家内儀魔離

三

寶曆七丁丑



ハフ〜志らぐ柱

三

鳥居清經画



簾に香のこもの

寶曆八戊寅



十二行 池ノ端 中島屋製

八重櫻やまと歌

丈阿作

寶曆一二壬午



大家幕色里通柱やが太一ん

寶曆二辛巳



八百屋お七江戸紫柱お七

三

鳥居清満筆

鶴屋

○お七の戒名を妙常禪定尼、天和三年三月廿九日と云せり

八百やお七戀のふー巴

安永元壬辰



山入桃太郎 柱

三

鶴屋

山姥物語

二

山科大將色好好

二



寶曆一〇庚辰

倭歌須磨昔

丈阿作

村田

寶曆一五午

十二行池ノ端中島屋製

新版 倭語會稽山 柱 ころつ 五

須原

倭詞玄宗談 柱 けんそ 三

丈阿作

寶曆二辛巳
安永二癸巳

山本 安永二
寶曆二

和文字二十四孝 柱 雪中のしげの子 二

明和五戊子

富川房信画

鶴屋

倭文字養老の瀧 柱 ころりさの月 三

鳥居清経画

ヤ

二五

山本勘助蛙の琴責

明和六己丑
山本

山本勘助軍配團

三

寶曆七丁丑



新三権の女簪言淀鯉口柱めりたき 三



工の部

ゆふき紬柱

三

富川吟雪画

帶取池一子見地勇士切劔

二

丈阿作



明和五戊子

縁草有馬藤柱二つたりりも三

鳥居清経画

桐

所縁糸わかりの糸

明和乙酉



瀬川結綿 桂 二 明和七庚申 鱗形屋孫兵衛

鳥居清経画 安永元壬辰 山本

由佐七郎榮花 山本

湯尾峠 孫 男色太平記 桂 三 明和八年卯 村

鳥居清満画 村

十二行池ノ端中島屋製

由良の湊三庄大夫 三 明和三丙戌 鶴屋

百合八郎詠歌の英 桂 百合花 三 明和乙酉 村

百合の花金剛力士 村

新百合稚高麗軍記 桂 三 明和元 村

新百合稚高麗軍記 桂 三 明和元 村

鳥海彌三郎 鎌倉權五郎 弓勢陸奥攻 桂 二 明和五戊子 山本

日本一の弓勢百太郎 二十丁 未之年

戯作 捨又 阿 通 山本小兵衛段

十二行 池ノ端 中島屋製

五の部

義家一代記 桂

五

鶴屋

義興矢口社

二

鳥居清経画

板元 西宮

。名君矢口の社と同本なり

五 一 良門峯起軍 柱 五

鶴屋

義高霞の松

三

繪師 富川吟雪

安永三甲午 通油町 松村彌兵衛

新吉田兼好北山櫻

柱 ぬり

三

寶曆八戊寅



新義經一代記

柱 四一三 子一代記

一〇



新義經一代記

三

吉

義經島渡り

柱 ぐり ぐり

二

鳥居清重画

鶴喜

十二行池ノ端中島屋製

義經新高館

二

義經千本櫻

二

新義經堀河夜討

柱 御所さくら

二

延享三丙寅

鶴喜

義經八嶋軍談

明和七庚寅

山本

新義仲一代記 柱木曾 五

鶴屋

新義信錦戸合戦 柱一き戸 三

甚四

吉野の帰り花二代楠

明和四丁亥

△

四の海吉例大福帳

安永二癸巳
奥村

夜哭石松 柱

二

四人敵討 柱りこさうち 二
鳥居清経画

預彌國合戦 柱久人ま 三
寶曆九己卯

山

源五平嫁納諏訪湖 三

明和七庚寅

△

陽あつ陰ひやう十二支記じふにし新あらた 柱しら上うへ下した 二 明和八年卯

鳥居清満画



冊しよ頼朝一代記 柱しら頼朝一代記 一二

延享元甲子 鶴屋

頼朝鎌倉話

安永三甲午



頼朝黄金の鶴鎌倉話

丈阿作

寶曆二壬午 山本

十二行池ノ端中島屋製

夜雨虎少將の念力 柱しら夜雨とせりく 二

安永元壬辰

富川房信画

奥村

新あらた麻布一本松 柱しら一本松 二

鳥居清経画

寶曆二辛巳

うの部

武頼
鬼童丸
富川
画

桂
きどり丸
白字
二

う

一三二

十二行 池ノ端 中島屋製

リノ部

西み女敵討

寶曆一三壬午

丈阿作

山本

西め女敵討

安永三甲午



龍宮曾我物語

柱 里うらう

二

明和八年卯

富川房信画

村田

龍宮鳴神

里うらう

二

明和七庚寅

富川房信筆

奥村

龍宮咄程

二

富川房信画

龍神揃程 神まろへ 二

田中益信画

龍神夜のよき

明和六己丑
山本

ワの部

丑辰若惠比須吉例之釣初程 若るびす 二 明和六己丑

富川房信画

つるや

若みとり五葉松

延享元甲子

山本

和漢筆道合戦程 和らん筆道合戦 二

北尾重政画

新板和國會稽山程 五三 五

山

和田朝比奈地獄敗り 柱じごくやぶり 三 寶曆一四甲申



和田軍勢門出の大盃 柱じごくんせい 二 富川房信画

渡邊綱一代武傳 柱一つる一代き三つる一代記 五 綱一代記

歌作八十翁

明和三元酉

十二行池ノ端中島屋製

渡邊綱身請論 柱じごくべりつる 三 明和八年卯 富川房信画 奥村

渡邊綱物語 二

延享二乙丑 大傳馬三所目

じごく花いくさ 寶曆二壬申



童子四季の翁 明和四丁亥



新踏保井の部
板小平太大宰物語 桂大みね物語 二



丹

一三六

十二行 池ノ端 中島屋製

上の部

越後國夜^ふべの油^油 桂よなべ 三 明和乙酉

鳥居清満画



繪本太平記

一〇 五十丁

ゑもん太郎嫁争ひ

二

鶴屋

遠^と櫻池^{さくらいけ}龍^{りゆう}庵^{あん}丁^{てい} 桂^{かき}さくらがけ 三

鳥居清経画



新繪本鳥づらし 柱花鳥

岩岩戸屋

ヲの部

王子長者 三
鳥居清経筆 鳥居清経画

王子藤森東西のちき 柱王子ふりの森 明二和六巳丑

山栗吹笛乾局 柱いぬい 三 明和五巳子

幼々曾我 二

をさな文字廿四考

明和五戊子
鶴屋

男あま夫中の玉取 柱男珠取 三

寶曆一三癸未

男道成寺

柱上男道下寺
柱下男道下寺

二

山

男作都目貫 柱男

二

十二行 池ノ端中島屋製

冊五

山野小所今様姿

柱今やとてり 五

鶴屋

山野道風 柱道風

二

安永三甲午

富川房信画

新姨捨山物語

柱おぼすて山 三

寛延三庚午
又寶曆一辛申

新小山田求女塚物語

柱上おぼすて山 三

明和二乙酉
鶴屋

富川房信画

ヲ

一三九

小山判官妻戀社

丈阿作

◎ 明和五戊子

女敵打故郷錦 柱こさやうのにき 三

寶曆一二年巳

富川吟雪画



新二女清玄二見櫻 柱女清げふたみさくら 三

◎ 安永元壬辰
江戸通油町

◎ 山九小

女仙人玉筍

◎ 延享元甲子
山本

女業平操の杜若

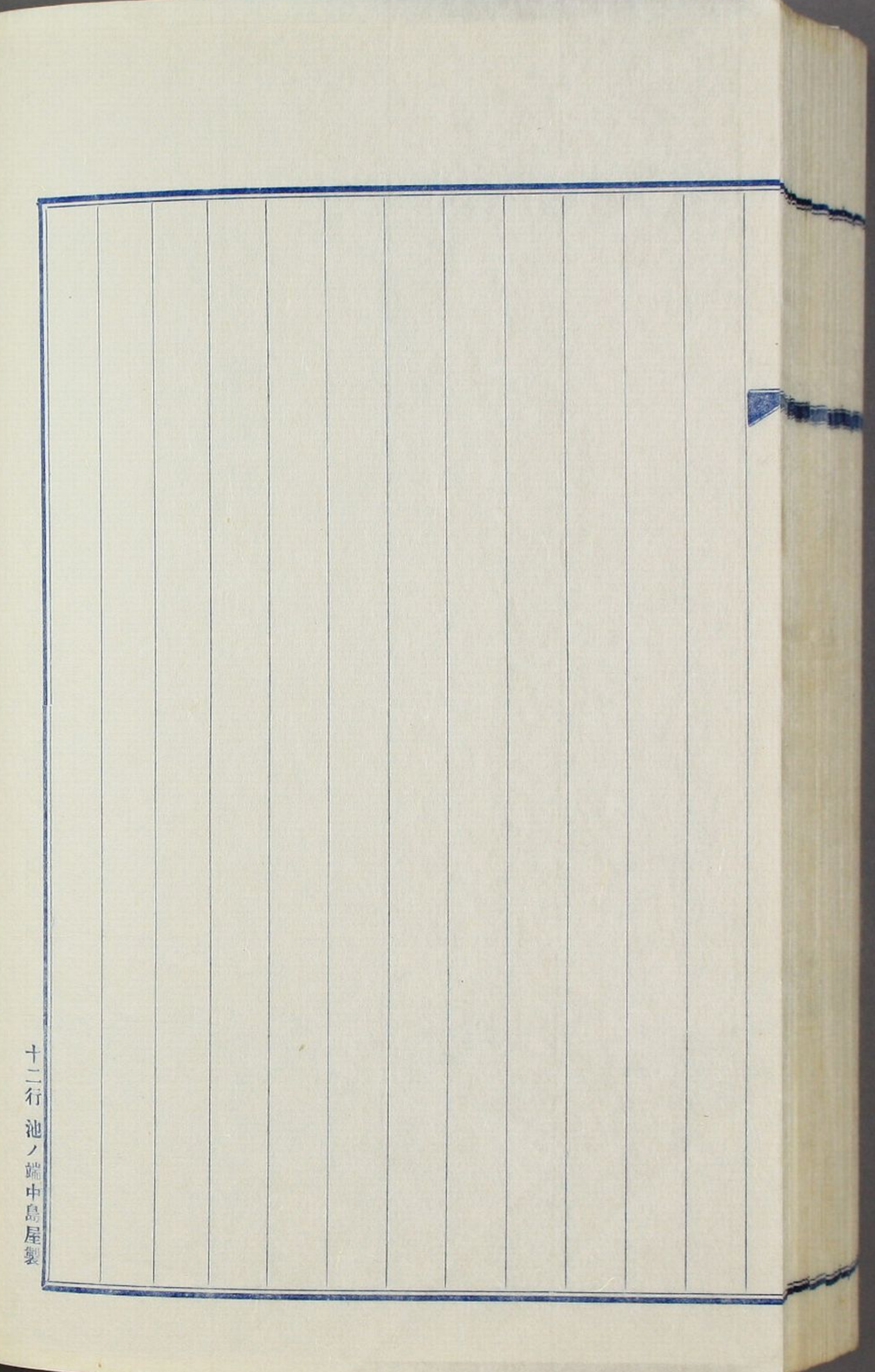
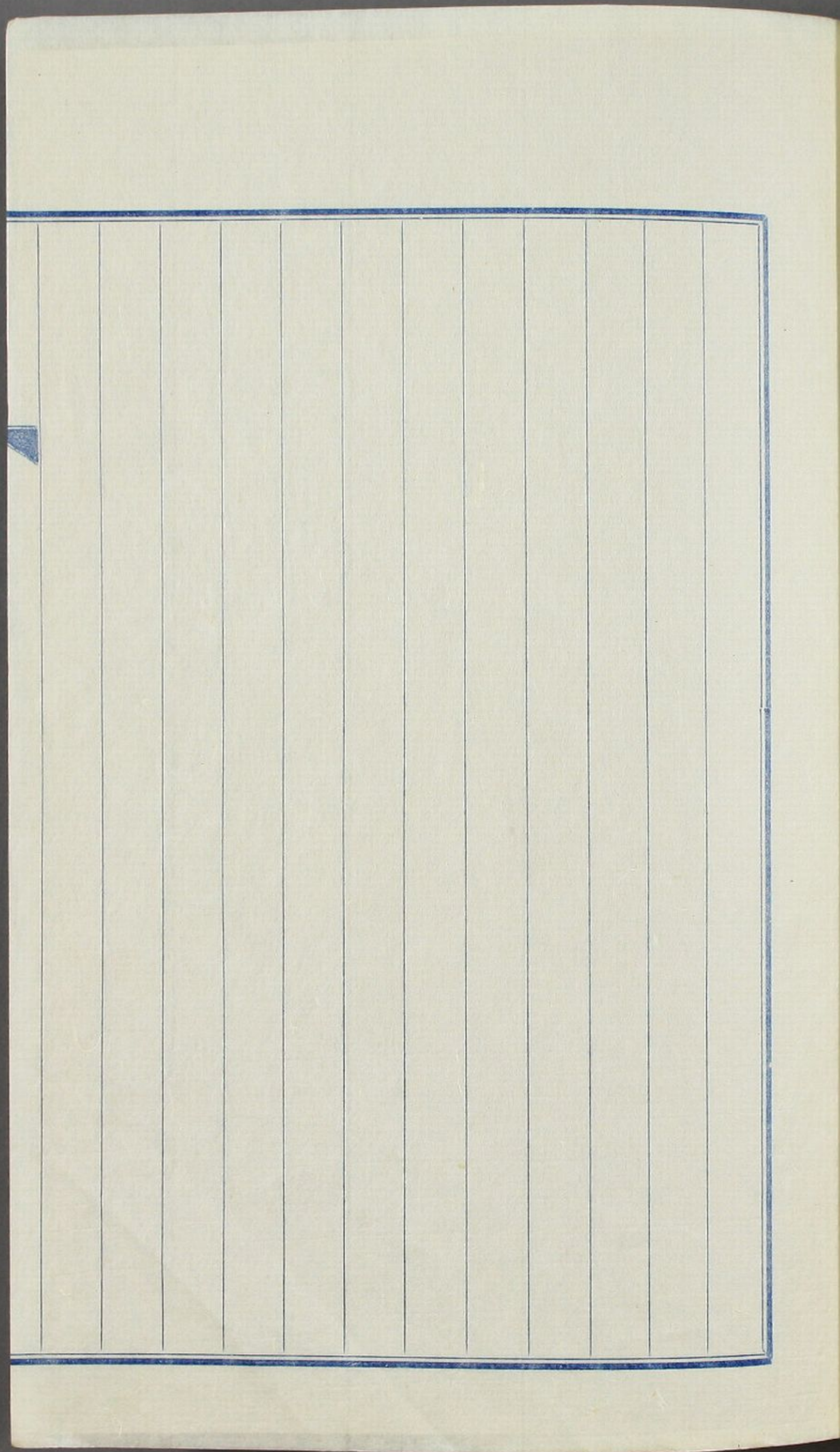
◎ 明和二己酉

女なす神思草

◎ 延享元甲子

女武者花かぶみ

◎ 安永元壬辰



十二行 池ノ端 中島屋製

十二行 池ノ端 中島屋製

